

兵庫県におけるシルビアシジミの吸蜜植物 —第6報—および天敵の観察

島崎正美¹⁾・島崎能子²⁾

筆者らは兵庫県加古川市と高砂市で確認できたシルビアシジミ（以下、本種）の吸蜜植物について報告（島崎, 2015, 2016, 2019, 2020, 2022）してきているが、今回、新たにアカバナユウゲショウ（図1）とキツネノマゴ（図2）で吸蜜する♂を観察でき、さらには、本種の天敵に関する新知見も得たので報告する。

1. 本種の吸蜜植物の追加2種

アカバナユウゲショウでの吸蜜場面はじっくり時間をかけた撮影ができたが、キツネノマゴでの吸蜜は飛翔中の♂について回っている途中で小さな株に咲く花に立ち寄る場面に出会ったものの、吸蜜時間が極めて短く接近撮影をするまもなく飛ばれていて証拠記録でしかない。

これまでに報告した5報に今回のアカバナユウゲショウとキツネノマゴを追加して、シルビアシジミの吸蜜植物は以下の29種となる。

赤系統：アカツメクサ、イヌコウジュ、イヌコモチナデシコ、キツネノマゴ、コマツナギ、ツルボ、ヌスビトハギ、ハナタデ、ヒメハギ、ミゾソバ、ペニバナセンブリ、アカバナユウゲショウ、キツネノマゴ（13種）

黄系統：アメリカセンダングサ、カタバミ、カンサイタンポポ、コメツブウマゴヤシ、ニガナ、フタナ、ミヤコグサ、ヒメジョオン、ヨメナ（9種）

青系統：オオイヌノフグリ、ツリガネニンジン、ヒナギキョウ、マスミレ（4種）

白系統：アリアケスミレ、オオニシキソウ、シロツメクサ（3種）

なお、第1報に示したオオニシキソウに関しては本種が口吻を伸ばしている画像を示せていなく、最近になって撮影記録がとれた、確かに花芯に口吻を伸ばす場面を図示しておく（図3）。以上29種は撮影記録が撮れた事例に限定したが、このほかに黄系統の花で数秒吸蜜をした事例としてセイタカアワダチソウ（2021年11月11日、高砂市曾根町）とアキノキリンソウ（2021年11月19日、加古川市西神吉町）の観察記録もある。

加古川市の本種が生息する地域には青系統のマツバウンランが咲く時期もあって、この花での吸蜜もありうると継続的に観察を続けている。

2. 本種の天敵に関する新知見

筆者らの知る限り本種の天敵に関する報告がほとんど見られなく、2023年に観察した2例を報告する。

事例1：ツチガエルが捕食

観察日：2023年6月18日

観察地：加古川市西神吉

本種の♀による産卵行動の撮影記録を目的としてその飛翔を追っていた際、足元から体長5cmほどの灰褐色のツチガエルがいきなり飛び出てきて今まさに目の前を飛んでいた個体がパクリと捕食されてしまった。思わず覗き込んだカエルの口元には翅も何も見えなくまさに一飲みであった。本種の飛翔中はビデオカメラを撮影モードにしていなかったため捕食の瞬間の記録は撮れていない。

事例2：クモの巣に一時捉われる

観察日：2023年7月4日

観察地：加古川市西神吉

本種がアカバナユウゲショウの花で吸蜜する場面を記録したあとミヤコグサでも吸蜜する♂の撮影記録をとろうとその飛翔について回っていたところ、いきなりクモの巣にかかった（図4）。クモの巣に捉われていたのはわずか2秒ほどで、ビデオ撮影のフォーカス合わせをする間もなく本種は羽ばたきを繰り返して自力で脱出したため、図4の画像は証拠記録でしかないが左前翅に斜めに架かる2本の糸を確認できる。脱出した本種は近くのチガヤの葉上で休息し始めたが、翅の開閉を繰り返して何も問題はないことを確認しているように見えた。本種の脱出行動でクモの巣の糸の大部分が切れたが巣を張ったクモの姿は確認できなくて種名は不明。

¹⁾ Masami SHIMAZAKI ; ²⁾ Yoshiko SHIMAZAKI 兵庫県高砂市

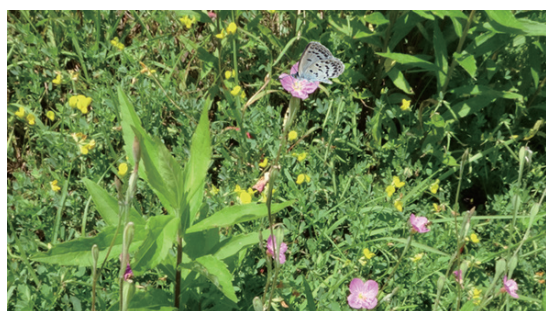


図1 アカバナユウゲショウで吸蜜する♂
(2023年7月4日 加古川市西神吉).



図2 キツネノマゴでの吸蜜する♂
(2023年9月12日 加古川市西神吉).



図3 オオニシキソウで吸蜜する♀
(2023年9月2日 加古川市志方町).



図4 クモの巣にかかった♂
(2023年7月4日 加古川市西神吉).

観察を始めた2008年以降、今回のツチガエル以外の天敵に捕食される場面には遭遇していないが、本種の生息地には、シオカラトンボ、ギンヤンマ、オニヤンマなどのトンボ類やムシヒキアブ類などの天敵が多くみられ、いつこれら天敵に捕食されてもおかしくない。実際、2023年9月1日に高砂市阿弥陀地区の生息地でツルボの花を転々と吸蜜してまわる本種の♂(図5)に対してシオカラトンボの♂が後ろから迫るように追尾し始め、シルビアシジミは上下左右に飛翔軌道を変えて飛び逃げる場面に出会ったが、捕獲されることなく逃げきった♂は木陰の草葉上で休憩し始めた。シオカラトンボが追尾する場面の撮影記録はとれていない。



図5 ツルボで吸蜜する♂
(2023年7月4日 高砂市阿弥陀町).

参考文献

- 島崎正美, 2015, 兵庫県におけるシルビアシジミの吸蜜植物. きべりはむし, 38(1), 4-5
- 島崎正美, 2016, 兵庫県におけるシルビアシジミの吸蜜植物—続報—. きべりはむし, 39(1), 17-18
- 島崎正美・島崎能子, 2019, 兵庫県におけるシルビアシジミの吸蜜植物—第3報—. きべりはむし, 42(2), 15-16
- 島崎正美・島崎能子, 2020, 兵庫県におけるシルビアシジミの吸蜜植物—第4報—. きべりはむし, 43(2), 11-12
- 島崎正美・島崎能子, 2022, 兵庫県におけるシルビアシジミの吸蜜植物—第5報—. きべりはむし, 45(2), 34-35